

公益社団法人日本中国友好協会
2014年度(平成26年度)事業報告
平成26年4月～平成27年3月

1. はじめに

2012年9月の「島問題」及び2013年12月の安倍晋三首相の靖国参拝により、日中関係が悪化している中、約3年ぶり、11月10日に日中両国の首脳会談が実現したことは歓迎すべき事柄である。両国関係の改善の一步を踏み出すことができ、民間の交流にも改善の兆しが出始めたことは喜ばしい。

(1) 大阪宣言

協会は、大阪において第14回日中友好交流会議の開催に際し、日中関係のここ数年の大変厳しい状況の改善を願い、早急かつ適切に対処すべき旨の「大阪宣言」を採択した。

(2) 岡崎温理事長談話の発表

談話は、両国の首脳会談が実現したことを歓迎し、日中双方の人々が共に努力してきた結果とし、悪化した国民感情を改善するためにさらなる努力をすることが求められている旨を提起した。

(3) 税額控除

協会は、4月25付「税額控除に係る証明書」を受領した。今後5年間、寄附をされた方に税額控除を受けることが出来る。

2. 第14回日中友好交流会議の開催

9月22・23両日、大阪において、「民間交流の新たなる高まりを！」をテーマに第14回日中友好交流会議を開催した。中国からは中日友好協会代表団（団長・謝元中国人民対外友好協会副会長一行7名）を含む4市22省5自治区から132名と日本側は28の都道府県日中友好協会274名が参加した。

22日午前は、全体会議・開会式を開いた。酒井哲夫副会長と謝元中国人民対外友好協会副会長が日中それぞれを代表して主催者あいさつをした。また、王曉渡中国大使館公使と松井一郎大阪知事が来賓あいさつをした。基調報告は、宇都宮徳一郎副会長と王秀雲中日友好協会副会長が行った。

22日午後は、3つの分散会に分かれて活発な討論を行った。

22日夜は、懇親会を開いた。谷井昭雄大阪府日中友好協会会長の開会のあいさつと、鏡割りが始まった。

23日午前は、全体会議・閉会式を開いた。藤田正憲大阪大学名誉教授の「環境対策 日本の経験」と題しての記念講演と大阪宣言を採択した。最後に王秀雲中日友好協会副会長と岡崎温理事長がそれぞれ閉会のあいさつを行い、2年後に中国で再開することを約束し閉会となった。

閉会后、中国からの参加者は友好都市等の関係方面を訪問した後、帰国した。

今回の会議には、外務省、大阪府、大阪市、中華人民共和国駐日本国大使館、中華人民共和国駐大阪総領事館、(一社)自治体国際化協会、(公社)関西経済連合会、大阪観光局のご後援と(一社)日中経済貿易センター、大阪国際フォーラムのご協力をいただいた。

3. (公社)日中友好協会代表団

7月30日～8月2日まで、酒井哲夫副会長を団長とする(公社)日中友好協会代表団(一行7名)は中日友好協会の招きで訪中した。

滞在中、唐家璇中日友好協会会長と会見し、日中関係や交流事業について意見交換を行った。また、外交部(孔鉉佑アジア局長)、教育部(陳盪暉国際協力局副局長)、文化部(張愛平対外連絡局局長)、宋慶齡基金会(井頓泉党組成員副主席)、中華全国婦女連合会(崔郁副主席)、中華全国青年連合会(周長奎副主席)、外交学会(彭克玉副会長)、北京市人民対外友好協会(田雁常務副会長)及び日本大使館(木寺昌人大使)の9の団体・機関を表敬訪問し、意見交換を行った。

今回の訪中は、6月の新役員体制最初の訪中である。なお、加藤紘一会長は、直前に病気となり参加できなかった。

4. 協会の組織運営

- (1) 今年度は、総会2回(定時総会1回、臨時総会1回)、理事会6回(定例理事会3回、臨時理事会3回)及び常務執行委員会14回開催した。

第4回定時総会(6月18日開催)は2013年度事業報告と収支決算報告を承認し、任期満了に伴う役員改選を行った。第5回臨時総会(3月17日開催)は協会の定款の改正の承認と(株)日中友好会館が所有する土地・建物についての討議を行った。

第14回定例理事会(1月21日開催)は2015年事業計画と収支予算を承認した。

- (2) 2014年度末現在の都道府県日中友好協会(以下「県協会」と略す)は、42の県協会が加盟している。未加盟は群馬県、宮崎県の2県。未組織は島根県、長崎県、沖縄県の3県である。

- (3) 全国女性委員会

6月13・14両日、埼玉県川越市において、全国女性委員会結成30周年記念大会を開催した。全国から100名余りが参加。大会では、汪婉中国大使館参事官(大使夫人の)記念講演と歴代の委員長4名及び各都道府県日中友好協会の女性委員会等21組織を表彰した。全国女性委員会(当初は全国婦人委員会)は1975年発足した日中友好婦人連絡会を前身に1984年に結成された。

- (4) 青年委員会等及び女性委員会等のある県協会は次のとおり。

青年委員会等：北海道、宮城県、福島県、茨城県、千葉県、神奈川県、長野県、京都府、大阪府、和歌山県、岡山県、香川県、福岡県、(13県協会)、

女性委員会等：北海道、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、香川県、熊本県、大分県、(24県協会)

- (5) 都道府県日中友好協会会長・理事長懇談会

1月21日、東京で各都道府県日中友好協会会長・理事長懇談会を開催した。19の都道府県日中友好協会の会長及び理事長と協会役員を含め29名が出席した。酒井哲夫副会長(福井県日中友好協会会長)の開会の挨拶で始まり、各地の会長、理事長は、活動が抱える課題だけでなく、改善に取り組んで効果があったことなども共有した。

5. 講演会等

(1) 日中友好秋季セミナー

協会は、中国大使館の協力を得て、10月25・26両日、山梨県山中湖畔において日中友好秋季セミナーを開催した。程永華中国大使の講演で始まり、懇親会と交流会を通して、日中友好の歴史と今後の事業・活動について意見交換を行った。セミナーには、中国大使館から9名、関東甲信越の県協会と協会役員等を含め52名が参加した。

(2) 講演会

- 5月30日 村岡久平理事長が豊道春海顕彰会発会にあたる懇談会と記念講演会で講演
- 11月29日 村山富市名誉顧問が岐阜県日中友好協会主催の講演会で講演
- 3月11日 西堀正司常務理事と佐藤洋一理事が「日中青年～友好の歴史を探る旅」(日中双方の大学生)で講演

(2) 周恩来と日本写真展

11月10日～12日 主催：豊橋地区日中友好協会 於：豊橋市民文化会館

6. 青少年交流

(1) 第5回宋慶齡国際青少年交流キャンプ

7月16日～23日まで、中国宋慶齡基金会在主催の「第5回宋慶齡国際青少年交流キャンプ」に日本の高校生12名(国際基督教大学高等学校)と教師1名、協会職員1名を派遣した。世界26カ国から約400名の参加者が英語を共通語として交流。北京での交流後、内モンゴルを訪問。

(2) 日中友好大学生訪中団

9月1日～8日まで日中友好大学生訪中団(団長・小野寺喜一郎常務理事一行101名)を派遣した。北京、西安、杭州及び上海を訪問し、中央民族大学(北京)、西安外国語大学及び杭州師範大学を訪問し、各大学の学生と交流のほか、博物館、ハイテク産業開発区及び旧跡名所を参観した。

今回の派遣の実施に際し、在日中国大使館の全面的ご協力と日本の大学の先生方のご協力により、募集から派遣まで1か月半の短期で実施することができた。受け入れは中日友好協会。

(3) 日本・アジア青少年サイエンス交流事業“さくらサイエンスプラン”

独立行政法人科学技術振興機構が進めている事業「アジアと日本の青少年が科学技術の分野で交流を深める」に賛同し、実施した。

1月29日～2月5日までさくらサイエンスプラン訪日団(団長・程海波中日友好協会友好交流部部长 一行28名(北京理工大学の学生26名含む))を受け入れた。東京電機大学北千住キャンパスでメインのプログラム・日中学生共同作業「ライントレースロボットの制作」の取り組みをした。また、リニア見学センター(山梨県)、高エネルギー加速器研究機構(茨城県)、(株)デムザックなどの訪問交流を行った。さらにホームステイを実施した。派遣は中日友好協会。

7. 文化、教育、学術などの諸分野の交流とミッションの派遣・受入等

(1) 訪中団等の派遣

5月14日～16日 中国人民対外友好協会創立60周年記念祝賀代表团 3名

7月16日～23日	第5回宋慶齡国際青少年交流サマーキャンプ	14名
7月30日～8月2日	(公社)日中友好協会代表団(団長・酒井哲夫副会長)	7名
9月1日～8日	日中友好大学生訪中団(団長・小野寺喜一郎常務理事)	101名
10月15日～21日	84日中青年友好交流30周年記念訪中団 (団長・小野寺喜一郎常務理事)	12名
11月5日～10日	(公社)日中友好協会活動家訪中団出発 (団長・西堀正司常務理事)	9名
11月18日～23日	(公社)日中友好協会永年会員訪中団出発 (団長・岡崎温理事長)	14名
3月16日～20日	第32回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会優勝者	2名
		(計162名)

(2) 訪日団等の受入

9月21日～25日	中日友好協会代表団 (団長・謝元中国人民対外友好協会副会長)	7名
9月21日～25日	第14回日中友好交流会議参加訪日団 (4市22省5自治区)	125名
1月29日～2月5日	日本・アジア青少年サイエンス交流事業“さくらサイエンスプラン” 訪日団(団長・程海波中日友好協会友好交流部部长)	28名
		(計160名)

(3) 中国の関係機関との交流

4月11日	書道芸術団訪日交流昼食会
5月15日	中国人民対外友好協会創立60周年記念行事
6月7日	2014年九州日中友好交流大会“中日友好協会唐家璇会長・元国務委員来日記念友好の集い”
7月15日	2014年北京市青少年キャラバン訪日団歓迎会
12月2日	胡偉広東省人民対外友好協会副会長一行5名来訪
12月25日	楽正維 何香凝美術館常務副館長一行来訪
1月28日	河北省観光説明会
2月10日	王秀雲中日友好協会副会長一行4名が来訪
3月19日	劉建超中国外交部部長助理と日中友好7団体理事長との夕食会

(4) 在日中国機関との交流

4月14日	日本と中国の友好の使者「信濃の一本桜」と「松本城の藤の花」の植樹二周年記念観桜会
6月18日	程永華中国大使をお招きしての懇親会
7月14日	汪婉中国大使館参事官ら友好交流部5名が来訪、村岡久平名誉副会長、岡崎温理事長らと懇談

- 8月13日 岡崎温理事長は、程永華中国大使を訪れ、雲南省魯甸県地震のお見舞いと義援金を贈呈
- 9月17日 汪婉中国大使館参事官は、王麟書記官の離任と王磊書記官の就任の挨拶のため来訪（永田）
- 9月25日 中国大使館主催 中華人民共和国建国 65 周年祝賀レセプション
- 10月14日 錦秋交流の夕べ
- 10月25日 日中友好秋季セミナー（～26日）
- 11月5日 岡崎温理事長が張西龍中国国家観光局（東京）首席代表を訪問・懇談
- 11月14日 新潟総領事館主催 日中友好団体交流会
- 1月14日 汪婉中国大使館参事官が来訪、理事長・常務理事らと懇談
- 2月12日 中国大使館・日中友好団体 2015 年新年会
- 3月18日 中国大使館汪婉参事官ら来訪、岡崎温理事長と懇談

(5) その他

- 4月22日 墨境—中国女性芸術家五人展開幕式
- 6月2日 アートが誘う中国への旅 水墨心韻～現代中国女性画家十人絵画展
- 6月6日 中日アートの夕べ交流会
- 7月1日 “海の方向” 西沙花光礁 1 号沈没船特別展開幕式
- 7月7日 謙和雅集・中日書道交流展開幕式
- 7月25日 万伯翱氏「六十春秋」散文集贈呈式
- 7月28日 中国大運河、シルクロード世界遺産登録記念“陶風磁韻”現代中国陶磁器絵画芸術ウィーク開幕式
- 8月11日 全日本華人書法家協会展開幕式
- 9月3日 崖香流芳 - 海南香文化交流展開幕式
- 9月27日 中国現代芸術書画展開幕式
- 10月7日 美しき青海 魅する清蔵高原写真展開幕式
- 10月7日 舞劇「朱鷺」日本プレビュー上演会
- 10月14日 豊道三代展開幕式
- 10月24日 東京・中国映画週間開催記念セミナー
- 10月27日 天津文化観光ウィーク及び衆芳所在—東方芸術展開幕式
- 11月25日 宜興陶磁器展開幕式
- 11月26日 人民日報海外版日本月刊「日中企業経営者交流会 2014」
- 12月9日 “行無界” 中国禅境芸術国際巡回展東京展開幕式
- 1月22日 “時を刻む木痕—中国新徽派版画展” 新春開幕式
- 2月9日 墨海—粟・郭同慶書法作品巡回展（東京）開幕式

8. 留学生派遣事業

(1) 2014 年公費留学

中国教育部及び中国大使館教育部（教育処が名称変更）の協力のもとに、中国政府奨学金を

受給する公費留学生を選考し、20名（長期のみ）を中国各地の大学に派遣した。

4月18日 中国大使館教育処に公費留学申請書提出。

8月11日 中国留学研修会を開催。

8月22日 中国大使館教育処は「2014年度中国政府奨学金日本人留学生壮行会」を開催。

8月下旬から9月上旬にかけて各自留学した。

(2) 2015年公費留学

1月5日～2月6日 2015年公費留学の応募受付をした。応募者数は49名。

3月8日 公費留学生選考面接試験を実施し、20名を内定した。

9. 中国語普及事業

(1) 第32回全日本中国語スピーチコンテスト

1月11日、第32回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会を開催した。全国大会には、大学生部門10名、高校生・一般部門9名が出場した。優勝者は、大学生部門・丸尾佳美さん（奈良県）、高校生・一般部門・鎌田恵子さん（一般・徳島県）が獲得した。

なお、都道府県大会は、19箇所で開催84名が出場。該当県協会は大学生部門15名、高校生・一般部門11名をエントリーした。11月21日にテープ審査を行い、全国大会出場者を選考した。また、都道府県大会には約1,000名の観客があった。

朗読部門には、中学生・高校生部門8名、大学生・大学院生部門8名、一般部門7名がエントリーした。テープ審査の結果、中学生・高校生部門3名、大学生・大学院生部門3名、一般部門3名が入賞し、当日の発表会で日頃の成果を披露した。都道府県大会には、233名が出場した。

(2) 第41回日中友好中国語夏期スクーリングは、全国4会場で開催した。

(3) 各県協会及び地区協会が実施している中国語講座（教室）は、27都道府県で開講している。

10. 丹羽宇一郎奨学金

協会は、丹羽宇一郎前中国大使の著書の印税による在日中国人留学生を支援する事業の協力依頼を受けて、「丹羽宇一郎奨学金」の募集、選考及び奨学金の支給を行った。

今年度は、3名の在日中国人留学生に奨学金の支給を行った。

また、2015年度に奨学金を支給する在日中国人留学生の募集と選考を行った。

10月10日～10月31日 応募受付をした。

応募者数は58名。書類審査を行い、14名を選考した。

3月7日

面接試験を実施し、6名を内定した。

11. 中国緑化協力事業

日中緑化交流基金の2014年度助成

宮城県日中友好協会（吉林省農安県1年）、埼玉県日中友好協会（山西省呂梁市6年）、長野県日中友好協会（河北省邢台市内丘県3年）、静岡県日中友好協会（湖北省孝昌県1年）、三重県日中友好協会（河南省光山県3年、河南省嵩山県2年）の5県協会（6箇所）と金沢市日中友好協会（寧夏回族自治区吳忠市3年、青海省楽都県3年）が緑化事業を行っている。

1 2. 日中友好都市締結の推進と支援

(1) 主な友好都市関係行事

①9月に開催した第14回日中友好交流会議に参加した中国の訪日団は、関係する友好都市を訪問している。②長野県須坂市は、友好都市20周年を記念し、須坂市親善訪問団（総団長・三木正夫須坂市長・須坂市日中友好協会会長）一行27名（うち中学生14名）が7月、吉林省四平市を訪問した。③9月15日～19日、石川県日中友好協会は江蘇省との友好都市締結30周年を記念し、江蘇省蘇州市を訪問、デザインを通じた交流展を開催した。④10月18日～22日、富山県友好代表団（団長・石井隆一富山県知事）と日中友好富山県地方議員連盟（団長・米原蕃県議会議員）が友好都市締結30周年を記念し、遼寧省を訪問した。⑤11月2日～6日、（一社）神奈川県日中友好協会は、友好都市である遼寧省を訪問、日本語スピーチコンテストや青少年交流会を開催した。⑥1月26日、長野県は、河北省代表団（団長・張慶偉省長）一行20名を迎えて、友好都市締結30周年記念式典を開いた。阿部守一知事、井出正一県協会会長らが出席し挨拶をした。冬季スポーツと医療・介護、環境の3分野の交流協力を推進する覚書に調印した。

(2) 日中間の友好都市および友好交流都市の締結数は367組（内、友好都市249組）。その中、県一省は36組が締結されている。なお、3組が友好都市を解消している。（参考資料：（公財）自治体国際化協会）

1 3. 日中友好7団体等との提携事業

(1) 日中友好7団体提携

2月12日 中国大使館主催の2015年新春会に日中友好7団体等の関係者が出席。

3月19日 劉建超中国外交部部長助理と日中友好7団体理事長との夕食会

(2) 後援・協力は公演・展覧会等53件

1 4. 組織の充実・発展に関する事業等

(1) ホームページ・インターネットの積極的な活用

毎年12月に行っている組織基本調査によると、ホームページを開設している県協会は25県協会（前年比1減）メールアドレスを持っている県協会は31県協会（前年比2増）であった。一定の事柄については、メールでの連絡を行っている。

(2) 満蒙開拓平和記念館

2006年7月から足掛け8年の歳月を経て、2013年4月24日開館した。1年間（2014年4月17日）で3万人の来館者を達成した。また、映画「望郷の鐘—満蒙開拓団の落日」の完成、上映活動とも連携を進めている。引き続き募金活動と展示資料の提供を呼び掛けている。

(3) 出版と会合等の開催

① 会報「日本と中国」は12回発行。

② 「友好手帳」2015年版は9月に発行。

③ 平山郁夫作品カレンダー2015は11月～12月に発売。

④ 1月21日、2015年日中友好新年会（（NPO）東京都日中友好協会と共催）を開催。

以 上